双葉西小だより

令和４年　４月１８日　文責　学校長　窪田　正幸

気持ちも新たに～新年度スタート～

厳しい寒さの中、じっと耐えてきた桜のつぼみが一斉に花開き，入学・進級をした子どもたちのスタートを応援してくれているかのようです。

穏やかな春の日差しとぬくもりに包まれながら，４月６日（水）に入学式，翌７日（木）に新任式・始業式が行われ，新１年生５５名を加えた２８３名の児童と３４名の職員で令和４年度がスタートしました。子ども達は，転入生やクラス替えによる新たな友との出会い，そして新任の先生方や新しい学級担任との出会いで，新鮮な気持ちと期待をもって登校してきています。

新型コロナウィルス感染症の状況は，依然予断を許さない状況でありますが，感染対策には十分気を配りながら取り組んでいくとともに，年度初めの新鮮でやる気に満ちた気持ちを持ち続けて，「今日は学校が楽しかった。」「明日も学校に行くのが楽しみだな。」と思える毎日が送れるように職員一同，全力で取り組んでいきます。本年度もよろしくお願いいたします。

入学式　～　ようこそ双葉西小へ　～

５５名の可愛い１年生が双葉西小学校に入学しました。今年度は，甲斐市教育委員会より米山祐希教育委員様をご来賓としてお迎えし，入学式を開催しました。コロナ禍のため，在校生の参加は叶いませんでしたが，入学式前日に６年生が準備のために登校し，会場や教室をとてもきれいに整えてしてくれました。新入生の喜ぶ姿を想像しながら一生懸命に準備をした６年生の想いに応えるかのように，１年生は式の間しっかりと着座して話を聞き，一人一人の呼名にも大きな声で返事をすることができました。

時間にして３０分弱の入学式でしたが，温かな雰囲気の中で無事に終えることができました。

校長からお願いしたこと
- あ　朝ご飯を食べてこよう
- い　いい返事をしよう
- う　運動をしよう
- え　笑顔を大切にしよう
- お　お話をしっかり聞こう

新任式　～１４名の先生方との出会い

令和３年度末の人事異動により，４月から１４名の新任職員が本校に赴任しました。これまでに多くの経験を積んできた職員，久しぶりに学校現場に復帰した職員，若手でエネルギッシュな職員，遠方より通勤している職員など様々ですが，どの職員も共通して言えることは，双葉西小学校の児童との対面を心待ちにしていたということです。新任式で職員の自己紹介を聞く子ども達も，「どんな先生なんだろう」という思いで，挨拶する職員に注目しながら話を聞いていたように見えました。

多くの職員が替わったことにより，これまでの双葉西小の特色を継承しつつ，新たな視点も盛り込みながらさらに双葉西小を前進させることができると考えています。保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をいただきながら，全ての子ども達のより良い成長と地域と共にある学校づくりを目指していきますので，これまでの職員同様，よろしくお願いいたします。

始業式　～「今から，ここから」新しい毎日を～

始業式の校長の話の場面で，子どもたちに「一人一人が頑張ることを決めて，今から，ここから始めよう」と話しました。以下，話の概要です。

これまで自分ができなかったことがあったとしても，今までダメだったからこれから先もダメとは限りません。今日から思いを新たにしてやり直せばいいのです。

「できなかったことが悔しい」と思えたら，まずあなたは成長のチャンスを手にしました。
「今年こそはできるようになりたい」と思えたら，あなたは成長のためのスタート地点に立つことができました。
「じゃあ，今日から〇〇をしてみよう」と具体的な行動に移せたら，あなたは成長のためのスタートを切りました。
そして，それが続けられたら・・・もうあなたはかなり成長できたと言えます。

自分がやると決めたときがスタートです。「今から，ここから」新しい毎日を気持ちよく過ごせるように，少しずつでいいから毎日頑張ってみましょう。

日米通算 3000 本安打を達成したイチロー選手は，「夢や目標を達成するには１つしか方法がない。それは小さなことを積み重ねること」と語っています。１年生には少し難しい話でしたが，毎日少しずつ頑張っていくことで，目標に近づき，自分を成長させていってほしいという願いを込めて話しました。もちろん，これは大人である私たちも一緒です。本校の学校教育目標「ともに学び　ともに育つ」を具現化できるよう，一つずつ積み重ねていきたいと思います。

4月の予定

月	火	水	木	金
１８ 学校集会 （役員任命）	１９ 全国学力学習状況調査（６年）	２０ 修学旅行 （６年）	２１	２２
２５	２６ 交通教室 （1・3年） 防犯教室(2年) 耳鼻科検診	２７ 尿検査 クラブ活動 創立 150 周年記念実行委員会	２８	２９ 昭和の日